

2016 年 1 月 7 日

報道関係各位

シニアの仕事に関する調査

シニア向け宿泊予約サービスを提供する株式会社ゆこゆこ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：萩原浩二）は、当社運営の宿泊予約サイト「ゆこゆこネット」の 50 代以上のメールマガジン会員 2,509 人を対象に、「仕事」に関する調査を実施いたしました。

<調査結果ダイジェスト>

■定年・早期退職した人の「退職後の就労状況」、約 4 割が何らかの形で働いている

「会社勤めをしている」が 24.9%と最多。「起業して働いている（個人事業主を含む）」が 8.0%

■「定年後も働いてよかったと思うこと」、約 6 割が「社会とのつながり」「健康の維持」の実感

「趣味やレジャーにお金を使える」「定年前と同じ所得を維持」などの金銭面での働きがい低い

■退職後、起業した人、「現在行っている事業の起業前の経験」は「30 年以上」「未経験」それぞれ約 3 割

「退職後もこれまでのキャリアを生かす人」と、「新たな挑戦をする人」の 2 極化が見られる

■「仕事による月収」、退職後に起業した人の約 4 割が「10 万円未満」

会社勤めの人に比べ月収の低さがうかがえるが、余暇・レジャー・趣味等への消費に回している金額は同程度

■「現在の仕事の満足度」、退職後に会社勤めの人の約 2 割は「満足していない」

起業した人では「満足していない」約 1 割と、満足度に差

■「この先何歳まで働きたいか」、起業した人の約 5 割が「働けるうちは何歳まででも働きたい」

一方、「働けるうちは何歳まででも働きたい」と回答した会社勤めの人は 3 割強にとどまり、約 2 割が「なるべく早くやめたい」と回答。退職後働くシニアの中でも、起業している人の生涯現役願望は特に高い

■有識者の考察

超高齢社会の持続に不可欠なシニアワーカー。さらなるシェア拡大に向け、仕組みづくりの推進を
(東北大学 特任教授・村田アソシエイツ代表／村田 裕之氏)

【調査概要】

調査期間：2015 年 9 月 8 日～9 月 17 日

調査対象：50 代以上のゆこゆこネットメールマガジン会員

調査方法：メールマガジン会員向けインターネット調査

有効回答数：2,509 件

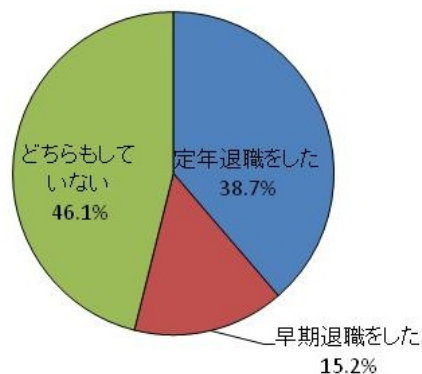
◆回答者プロフィール

	男性	女性
全体	1952	557
50代	545	354
60代	993	177
70代以上	414	26

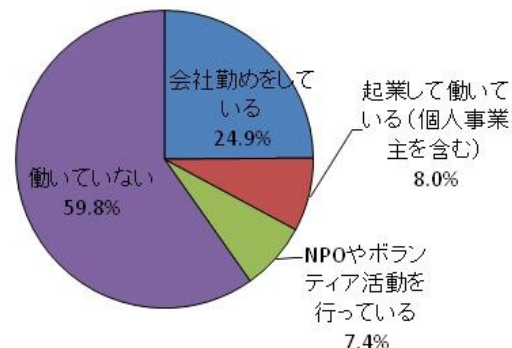
1. 「定年退職」「早期退職」した人

■ 「定年退職」「早期退職」の実施状況・退職後の就労状況

あなたは「定年退職」または「早期退職」をしましたか？
 <n=全体2,509 単一回答>



現在の就労状況は次のどれでしょうか？
 <n=「定年退職」「早期退職」をした人1,352 単一回答>

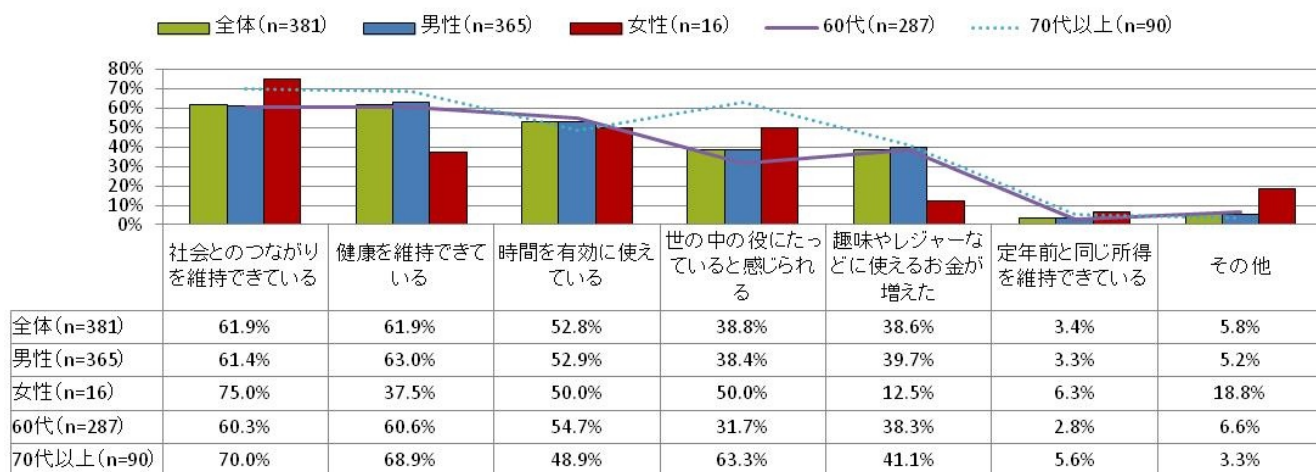


【定年退職・早期退職の実施状況】について聞いたところ、「定年退職をした」が 38.7%、「早期退職をした」が 15.2%でした。

【定年退職・早期退職後の就労状況】について聞いたところ、「会社勤めをしている」が 24.9%、「起業して働いている（個人事業主を含む）」が 8.0%、「NPO やボランティア活動を行っている」が 7.4%と、約 4 割が退職後も何らかの形で働いていることがわかりました。

■ 定年退職後も働いていてよかったと思うこと

定年退職後も働いていてよかったと思うことは何ですか？
 <n=定年退職し、現在も働いている人381 複数回答>

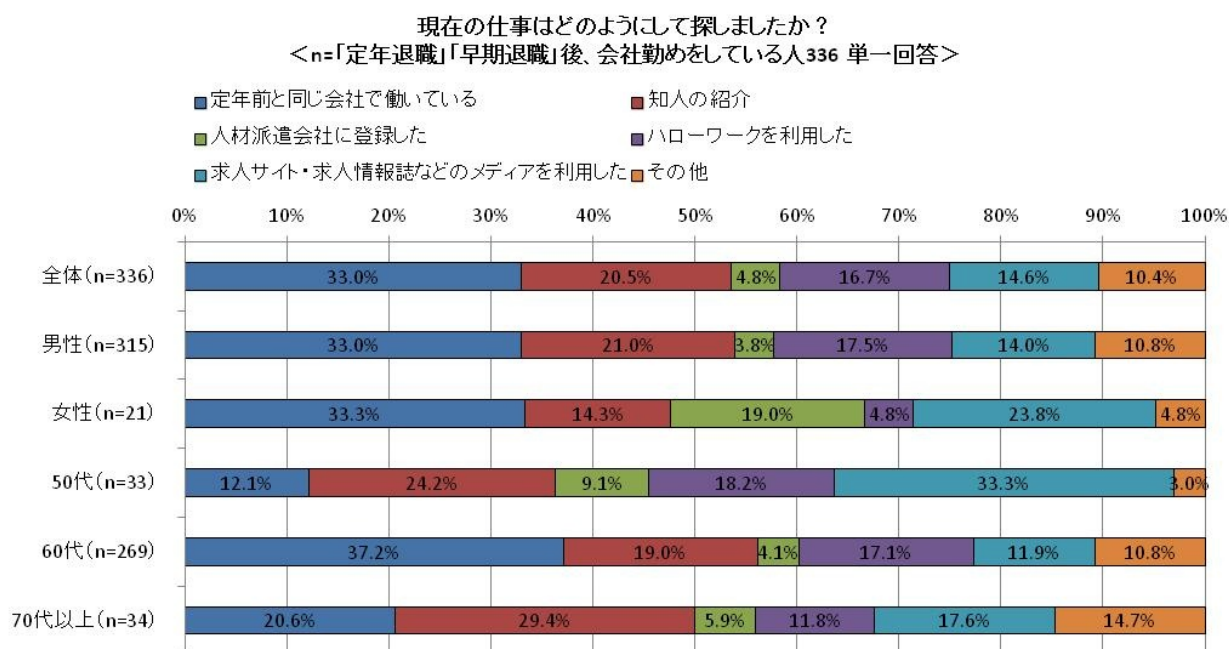


定年退職し、現在も働いている人に【定年退職後も働いていてよかったと思うこと】について聞いたところ、全体でもっとも多かったのは「社会とのつながりを維持できている」と「健康を維持できている」の 61.9%でした。一方で「趣味やレジャーなどに使えるお金が増えた」は 38.6%、「定年前と同じ所得を維持できている」は 3.4%と、金銭面での働きがいは低い結果となりました。

男女別にみると、「社会とのつながりを維持できている」「世の中の役にたっていると感じられる」では女性が目立ち、また、年代別にみると、「世の中の役にたっていると感じられる」では 70 代以上が目立ちました。

2. 退職後、会社勤めをしている人

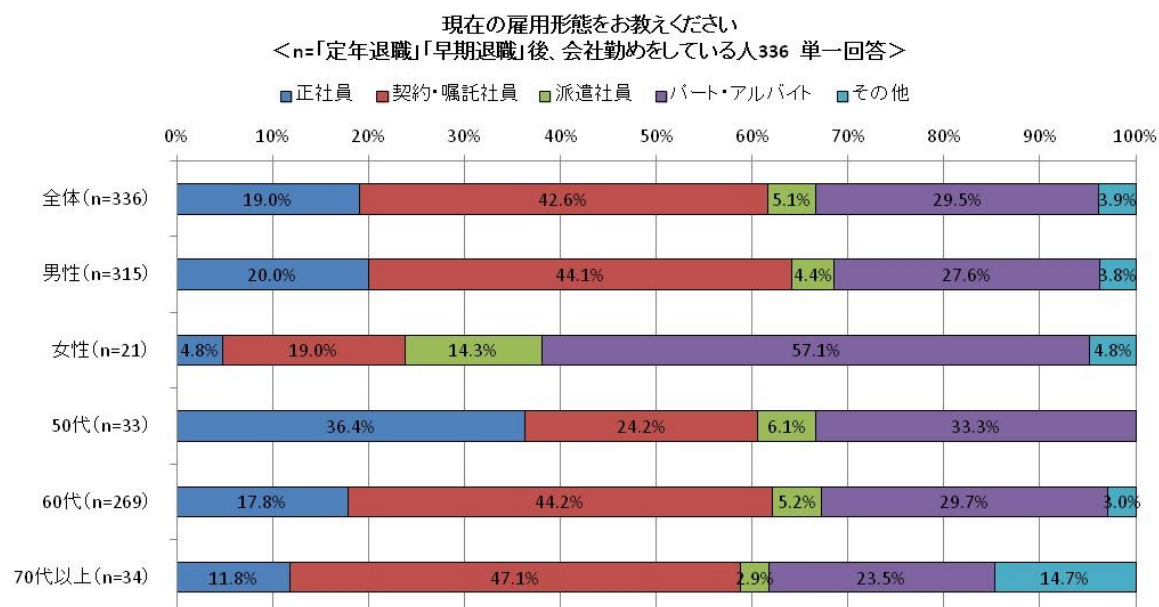
■ 現在の仕事をどのように探したか



「現在の仕事をどのように探したか」について聞いたところ、全体でもっとも多かったのは「定年前と同じ会社で働いている」の33.0%でした。

男女別にみると、「求人サイト・求人情報誌などのメディアを利用した」「人材派遣会社に登録した」は女性に目立ちました。また、年代別にみると、50代では「求人サイト・求人情報誌などのメディアを利用した」、60代では「定年前と同じ会社で働いている」、70代以上では「知人の紹介」が目立ちました。

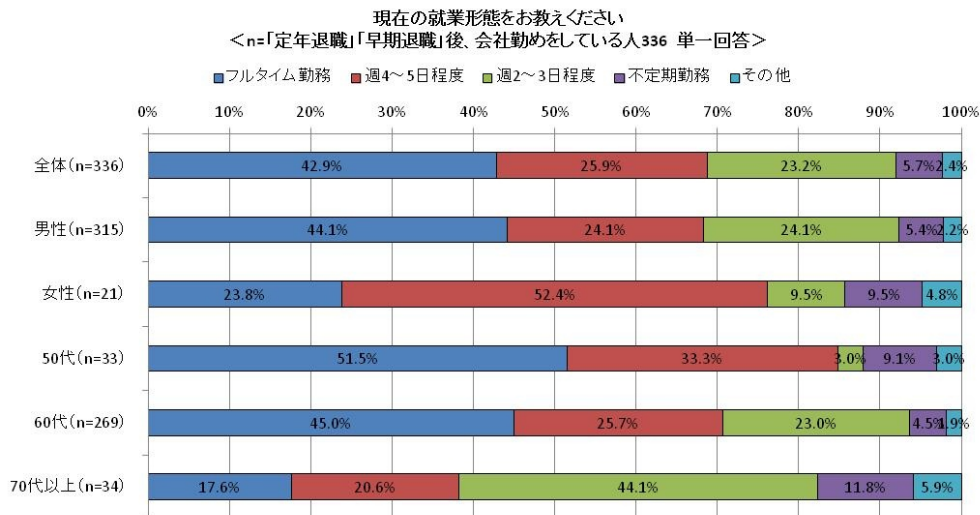
■ 現在の雇用形態



「現在の雇用形態」について聞いたところ、全体でもっとも多かったのは「契約・嘱託社員」の42.6%でした。

男女別にみると、女性の半数以上が「パート・アルバイト」でした。また、年代別にみると、60代になると「正社員」の割合が大きく減少し、「契約・嘱託社員」の割合が大きく増加することがわかりました。

■ 現在の就業形態



【現在の就業形態】について聞いたところ、全体でもっとも多かったのは「フルタイム勤務」の42.9%でした。

男女別にみると、女性の半数以上が「週4～5日程度」でした。また、年代別にみると、60代になると「週2～3日程度」の割合が大きく増加、70代以上になると「フルタイム勤務」の割合が大きく減少することがわかりました。

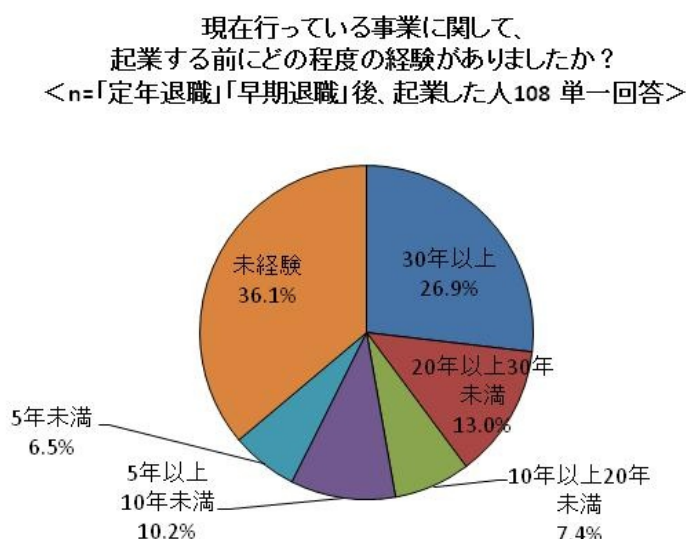
3. 退職後、起業した人

■ 起業した業種

	全体(n=108)	男性(n=102)	女性(n=6)
サービス業	29.6%	28.4%	50.0%
農業	11.1%	11.8%	0.0%
製造業	6.5%	6.9%	0.0%
運輸業	6.5%	6.9%	0.0%
不動産業	6.5%	6.9%	0.0%
小売業	4.6%	4.9%	0.0%
建設業	2.8%	2.9%	0.0%
情報通信業	2.8%	2.9%	0.0%
飲食店	2.8%	2.0%	16.7%
教育	1.9%	2.0%	0.0%
その他	25.0%	24.5%	33.3%

【起業した業種】について聞いたところ、もっとも多かったのは「サービス業」29.6%、次いで「農業」11.1%でした。「その他」では、コンサルタント、マンション管理士、編集企画業、整体師、漁師などがあがりました。

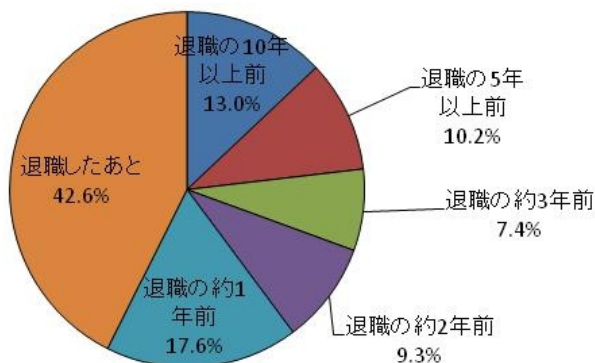
■ 起業前の経験



現在行っている事業に関する【起業する前の経験】について聞いたところ、「30年以上」が26.9%いる一方で「未経験」が36.1%と、これまでのキャリアを生かす人と新たな挑戦をする人の2極化が見られました。

■ 起業の準備期間

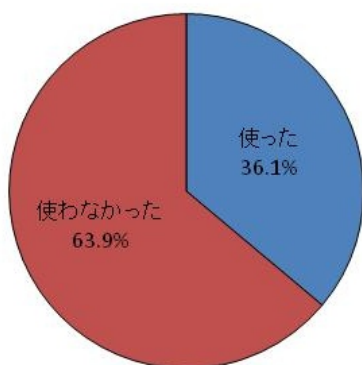
起業の準備はいつからしていましたか？
 <n=「定年退職」「早期退職」後、起業した人108 単一回答>



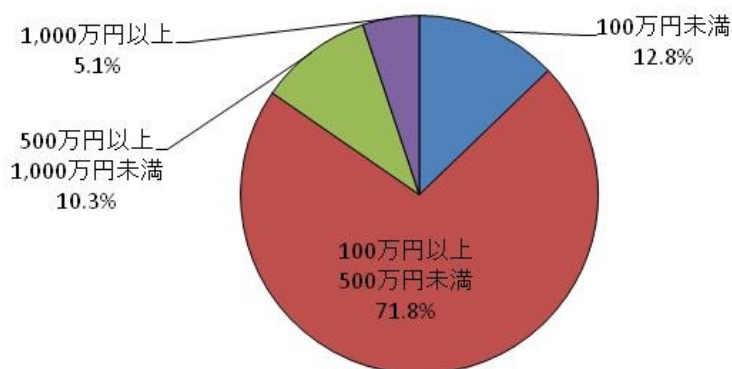
【起業までの準備期間】について聞いたところ、もっとも多かったのは「退職したあと」の42.6%でした。

■ 起業資金としての退職金利用について

起業にあたって退職金を使いましたか？
 <n=「定年退職」「早期退職」後、起業した人108 単一回答>



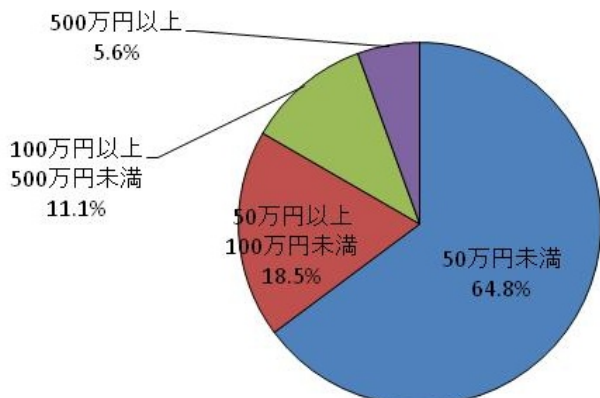
退職金はいくらぐらい使いましたか？
 <n=起業にあたって退職金を使った人39 単一回答>



【起業にあたって退職金を使ったか】について聞いたところ、全体の36.1%が「使った」と回答しました。また、退職金を使った人に、【いくらぐらい使ったか】を聞いたところ、もっとも多かったのは「100万円以上500万円未満」の71.8%でした。

■ 現在の月商

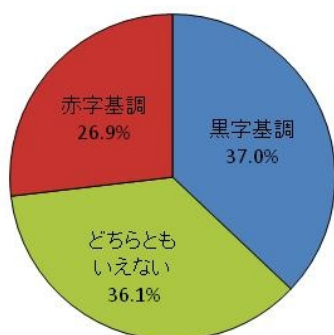
起業した会社の現在の月商はどの程度ですか？
 <n=「定年退職」「早期退職」後、起業した人108 単一回答>



【起業した会社の現在の月商】について聞いたところ、もっとも多かったのは「50万円未満」の64.8%でした。

■ 現在の採算状況

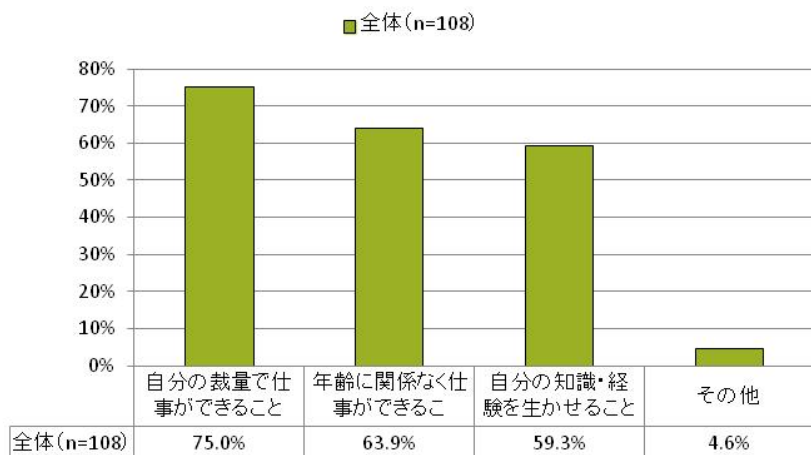
現在の会社の採算状況について教えてください
 <n=「定年退職」「早期退職」後、起業した人108 単一回答>



「[起業した会社の採算状況]」について聞いたところ、「黒字基調」と回答したのは全体の 37.0%でした。

■ 起業してよかったと思うこと

起業してよかったと思うことは何ですか？
 <n=「定年退職」「早期退職」後、起業した人108 複数回答>

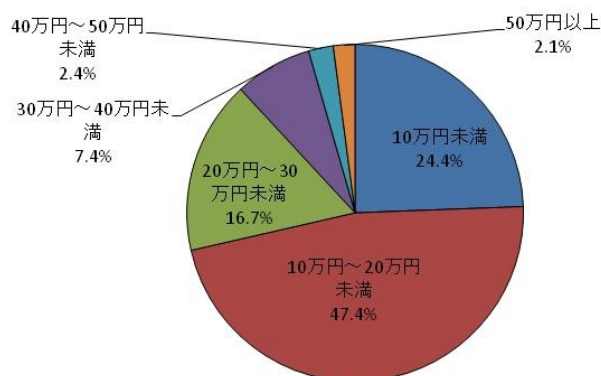


「[起業してよかったと思うこと]」について聞いたところ、もっとも多かったのは「自分の裁量で仕事ができること」の 75.0%でした。

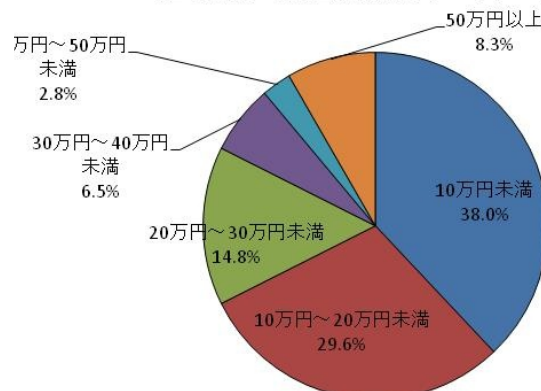
4. 退職後、会社勤めをしている人・起業した人の比較

■ 仕事による月収

現在の1カ月当たりの【仕事による収入】はどれくらいですか？
 <n=「定年退職」「早期退職」後、会社勤めをしている人336 単一回答>



現在の1カ月当たりの【仕事による収入】はどれくらいですか？
 <n=「定年退職」「早期退職」後、起業した人108 単一回答>

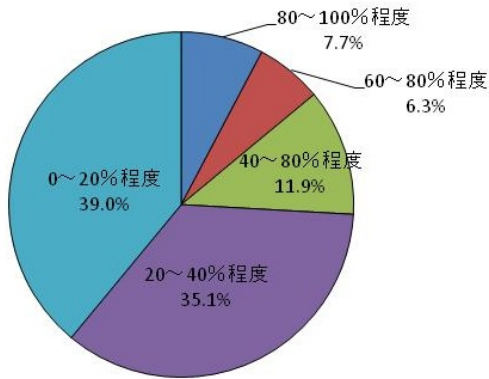


「[現在の1カ月当たりの仕事による収入]」について聞いたところ、どちらも約7割が「20万円未満」（「10万円未満」「10万円～20万円程度」の合計）と回答していますが、「10万円未満」の回答は起業している人の方が多く、会社勤めの人に比べると月収の低さがうかがえました。

■ 仕事による収入の使い道

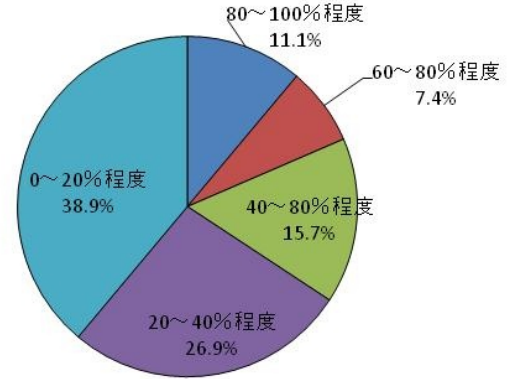
【仕事による収入】のうち、どの程度を余暇・レジャー・趣味等への消費にまわしていますか？

<n=「定年退職」「早期退職」後、会社勤めをしている人336 単一回答>



【仕事による収入】のうち、どの程度を余暇・レジャー・趣味等への消費にまわしていますか？

<n=「定年退職」「早期退職」後、起業した人108 単一回答>



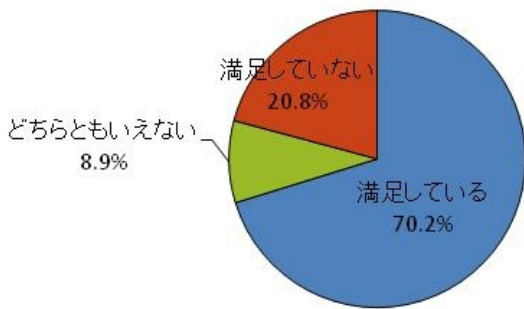
【仕事による収入のうち、余暇・レジャー・趣味等への消費にまわしている金額の割合】については、大きな差は見られませんでした。

■ 仕事への満足度について

現在の仕事に満足していますか？

<n=「定年退職」「早期退職」後、会社勤めをしている人336 単一回答>

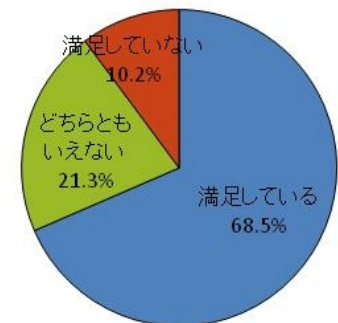
■ 満足している ■ どちらともいえない ■ 満足していない



現在の仕事に満足していますか？

<n=「定年退職」「早期退職」後、起業した人108 単一回答>

■ 満足している ■ どちらともいえない ■ 満足していない



【現在の仕事への満足度】について聞いたところ、「満足している」はどちらも約7割いるものの、会社勤めでは「満足していない」が約2割と、満足度に差が見られました。

【仕事への満足度 理由】

満足している

>会社勤めをしている人

正規社員と同様の業務内容で、スムーズに仕事ができている（行政事務 契約・嘱託社員/60代男性）
利用者の皆さんに感謝される（病院の外来送迎バス運転手 パート・アルバイト/60代男性）

>起業した人

自分の趣味を生かして収入になる（製造業/70代以上男性）

時間に追われることなく、充実のときを過ごせている（経営コンサルタント/60代男性）

満足していない

>会社勤めをしている人

業務内容は定年前と一緒にいるにもかかわらず、給与は半額以下（倉庫業 契約・嘱託社員/60代男性）
権限、収入とも大幅に低下した（販売職 パート・アルバイト/60代男性）

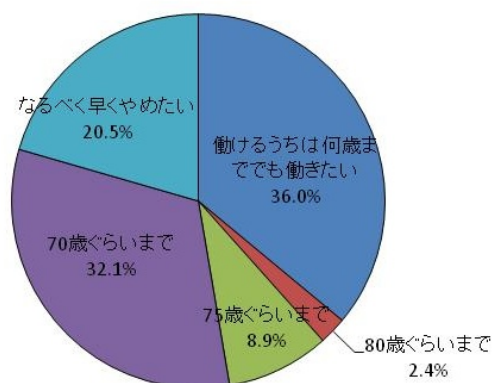
>起業した人

組織の中の仕事と違い個人活動のため、助力者がいない（輸入販売業/60代男性）

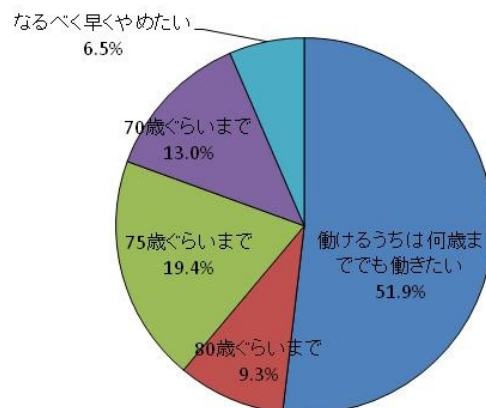
夜逃げや空き部屋対策など、想像以上に大変な思いをしている（不動産業/50代男性）

■ この先何歳まで働きたいか

この先、何歳まで働き続けたいと考えていますか？
 <n=「定年退職」「早期退職」後、会社勤めをしている人336 単一回答>



この先、何歳まで働き続けたいと考えていますか？
 <n=「定年退職」「早期退職」後、起業した人108 単一回答>



【この先何歳まで働き続けたいか】について聞いたところ、会社勤めをしている人では「働くうちは何歳までも働きたい」は36.0%で、「なるべく早くやめたい」は20.5%でした。一方、起業した人では「働くうちは何歳までも働きたい」が51.9%で、「なるべく早くやめたい」は6.5%にとどまりました。定年後働くシニアの中でも、起業している人の生涯現役願望は特に高いといえます。

～起業シニアのコメント集～

起業して大変なこと

- 経験があまりないので、営業活動が大変（製造業/50代男性）
- 経理面が素人なので難しい（情報通信業/60代男性）
- 素人集団の集まりでうまくいってない（サービス業/50代男性）
- 確定申告等すべて自分で行わないといけない（建設業/50代男性）
- 自宅を事務所にしているので、カミさんに疎ましがられる（不動産業/50代男性）
- 体が大事で病気になれない（小売業/60代男性）
- 健康・体力・気力の維持（サービス業/50代男性）
- 日の出から日没まで休む間もない（農業/60代男性）

起業する上で大事なこと

- 好きになれることを選ぶ（マンション管理士/50代男性）
- 自分自身の意識と家族の協力（製造業/50代男性）
- 起業した目的を見失わないこと（飲食店/60代男性）
- 今まで築いてきた人間関係、信頼関係を活用し、能力範囲内の仕事をする（輸入販売業/60代男性）
- ある程度お客さんを作っておくこと（サービス業/60代男性）
- 利益を出すことを第一に目指すのか、体と精神的な面の健康を考えるのかの選択（農業/60代男性）
- 身の丈に合った仕事（運輸業/60代男性）
- 起業時の投資額が大きにならないこと。2～3年は赤字覚悟でも、生活できる範囲での投資額で収まる起業であること（運輸業/60代男性）
- 定年後に起業するのであれば、年金や退職金を取り崩さない範囲で行うこと（サービス業/60代男性）

調査結果を受けて

超高齢社会の持続に不可欠なシニアワーカー。さらなるシェア拡大に向け、仕組みづくりの推進を

東北大学特任教授・村田アソシエイツ代表 / 村田裕之氏

定年・早期退職者の約4割が何らかの形で働いているとの結果が出ている。総務省の労働力調査(2015年9月)によれば、65歳以上の就業率は2004年の19.3%から22%まで増加しているが、4割には満たない。今回の調査結果の数値が高めなのは、調査対象が50代以上になっているためだ。対象を65歳以上に絞り、総務省調査との対比をすれば、より正確な傾向が分かるだろう。

定年後も働いてよかったと思うこととして、約6割が「社会とのつながり」「健康の維持」を挙げている。これは他の調査結果と同様であり、定年後に働く場合の主な意義となっている。

また、70代以上で「世の中の役にたっていると感じられる」が目立つのは、70代前後に「まとめ段階」という心理的発達段階がしばしば見られることと一致している。米国の心理学者コーエンによれば、まとめ段階には世の中に恩返しをしたくなる傾向が見られることがわかっている。

起業した業種でサービス業の次に農業が挙がっていることが目を引く。ただし、一般には高齢になると生業としての農業は体力的に厳しいため、これが本当に収入を得るために農業で起業したのか、単に家庭菜園を始めたのかが不明だ。仮に、退職後に生業としての農業で起業したのであれば、近年増えつつある「農業女子」などと並ぶ新たな傾向と言えよう。

起業した人には、これまでのキャリアを生かす人と新たな挑戦をする人の2極化が見られる。これまでのキャリア・経験は強みにもなる反面、先入観に縛られたり、レッテルを張られたり、足かせになる場合もある。一方、新たな挑戦をする場合も、これまでの業務で培った職業人としてのノウハウが生きることも多々ある。重要なのは、これまでのキャリア・経験が起業のどの段階でどのように生きたのかである。換言すれば、起業成功のカギは、これまでのキャリアの生かし方にあると言える。

現在の仕事への満足度については、会社勤めの人・起業した人のどちらも「満足している」人が約7割いるものの、「満足していない」人の割合では、会社勤めの人約2割と、起業した人では約1割と差が見られる。会社勤めの人で「満足していない」理由のほとんどが、それまでに比べて収入が大幅に減ったことを挙げている。

一方、起業した人は、仕事による収入が会社勤めの人よりも少なめに関わらず、「満足していない」人の割合も少ない。起業した人は「自分の裁量で仕事ができること」を起業のメリットとして最も挙げていることから、他人に雇われない働き方が、多少給料が安くても自分が納得できるスタイルだと言えよう。

また、【この先何歳まで働き続けたいか】という設問に対して、起業している人の生涯現役願望が特に高いという結果が出ている。自分の意思で起業したので、他人にクビを切られることもなく、自分の意思と体力さえあれば働き続けられるという安心感がこうした生涯現役願望を後押ししていると考えられる。

人口のシニアシフトが今後ますます進み、高齢者の絶対数が増えるなかで、退職後も適度に仕事を続ける高齢者の割合を増やすことは、超高齢社会を持続可能にするために必要不可欠だ。本調査結果からも適度に仕事をするのが健康によいと実感している人が多いことが示されている。

今後こうした仕事を続ける高齢者の割合をさらに拡大するには、政策的なインセンティブ制度の導入も有効だ。それは例えば、高齢者でも仕事をして納めた税金分と健康維持の結果、他的高齢者よりも節減できた医療費・介護費の貢献分に応じて、本人の健康保険料と介護保険料を割り引く制度の導入だ。

シニアが仕事を続けて税金を納め、健康でいるほど、本人が得する仕組みこそが、よりシニアの社会参加を促し、医療費・介護費の低減につながり、超高齢社会を活気あふれる社会に変えていくことができるだろう。

《株式会社ゆこゆこ 概要》

- (1) 商号:株式会社ゆこゆこ
- (2) 代表者:代表取締役社長 萩原 浩二
- (3) 所在地:東京都中央区銀座 2-3-6 銀座並木通りビル
- (4) 設立:2000 年 1 月 12 日
- (5) 資本金:205 百万円
- (6) 売上高:76.1 億円 (15 年 3 月期)
- (7) 従業員数:218 人 (15 年 9 月現在)
- (8) 主な事業の内容:シニア向け宿泊予約サービス
 - ・宿泊情報誌「ゆこゆこ」発行
 - ＜会員数＞643 万人 (15 年 9 月末現在)
 - ・宿泊予約サイト「ゆこゆこネット」運営
 - ＜会員数＞93 万人 (15 年 9 月末現在)

■この件に関するお問い合わせ先■

株式会社 ゆこゆこ

経営企画室 事業統括グループ 笠原

TEL:03-6745-0506 FAX:03-3564-7692

E-mail:yuko_pr@yukoyuko.co.jp